



大西庄之助 録
鹿兒島軍記 八号

10

15

20

25

前原一格

旧長藩の士族前原一誠の舎弟
兄捕縛際

鹿見島
小潜伏
今一回
西白と共
熊本
に出張
官軍と抗戦



鹿兒島軍記八編

大西篤之助録
別府新助

前
号
記
別府
の西人
兵
人吉
官軍



後脊とあひをさそ討んとせしむ
官兵より其機をさしあち
まうけたる変あれば賊兵
かろて敗走ちりしり

大書記官なる 淵辺群平
田畑

常秋といふ同縣の
士族より篤実なる
ゆのなるゆを其をドめ
西より大軍を引卒
ちり上京せんとな
るをいふ事なり



國家のあ
に正美
ある妻

田畑常秋

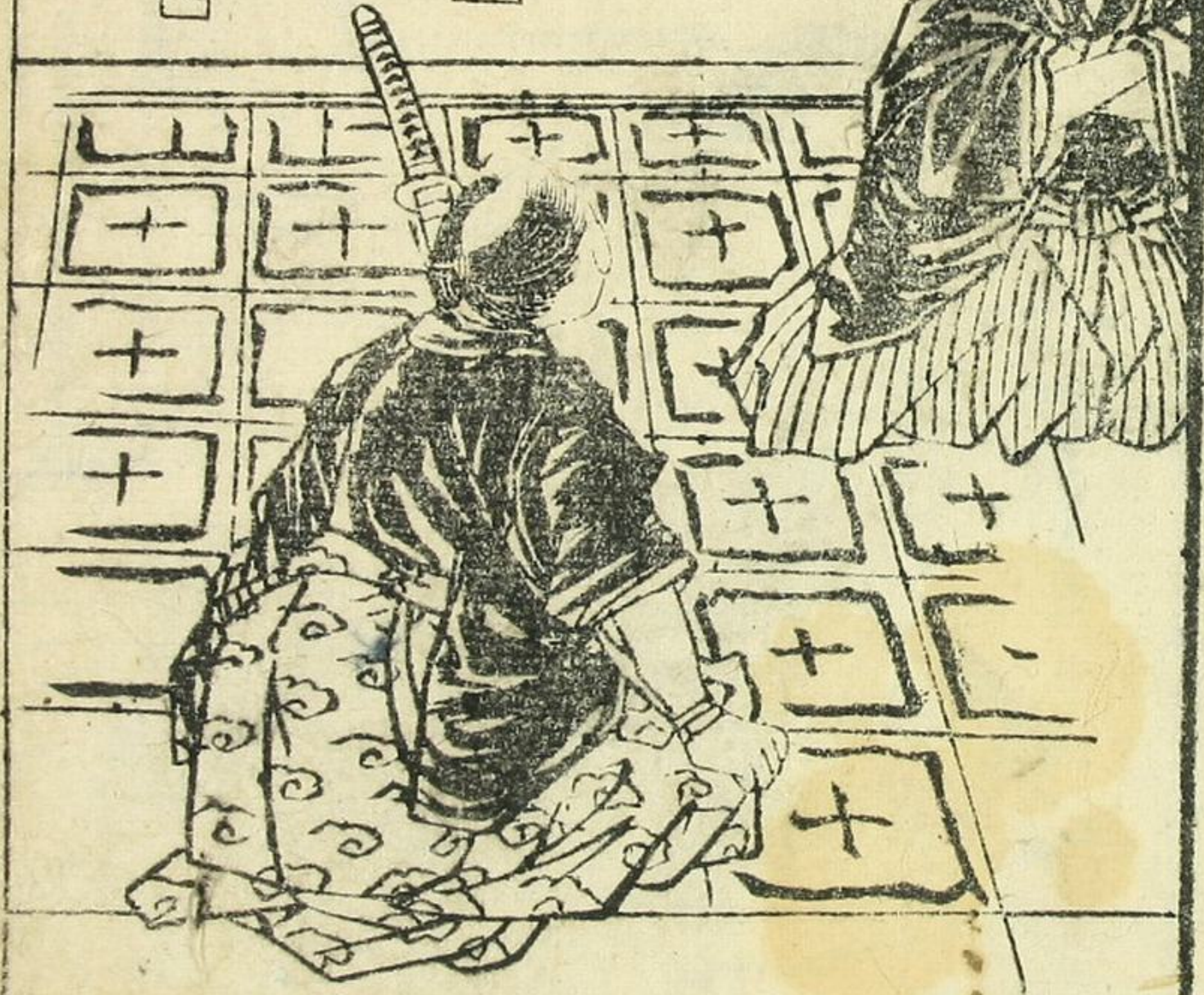
以何れとあく
尽力なり種々周旋
あまびくが豈なるらん

別府新助

向ありしとさうより
ちドめて西の桐野ホハ

別府淵辺の兩人
田畑常秋と迫り

次へ



意已也



逆意の
ありき
と羨にさよめて
後悔多し何とぞ
心よふいぢりや

田畑常秋

朝廷より西沙汰
ありて田畑の伝記
とけりてある
あるに肥後の
戦地より淵辺高照
別府新助新兵とのあつんと兩人鹿兒島に少りきりて田畑常秋と
面談あり金穀あり新兵と勸募ありて妻を譲すれと田畑の妻を
左右あせ曖昧たるものなれば別府淵辺に大いけりてあるに
激論ありて果ては田畑常秋の先非後悔はつて一封の書
を残し割腹ありて果てはつて

先非後悔
常秋自殺す

○賊将等の妻をたらしめたりたり人足大勢に
駕籠をかけるせきめい田原坂で何れ大佐を討
つてこの分捕があるところの大勝利あり

次へ

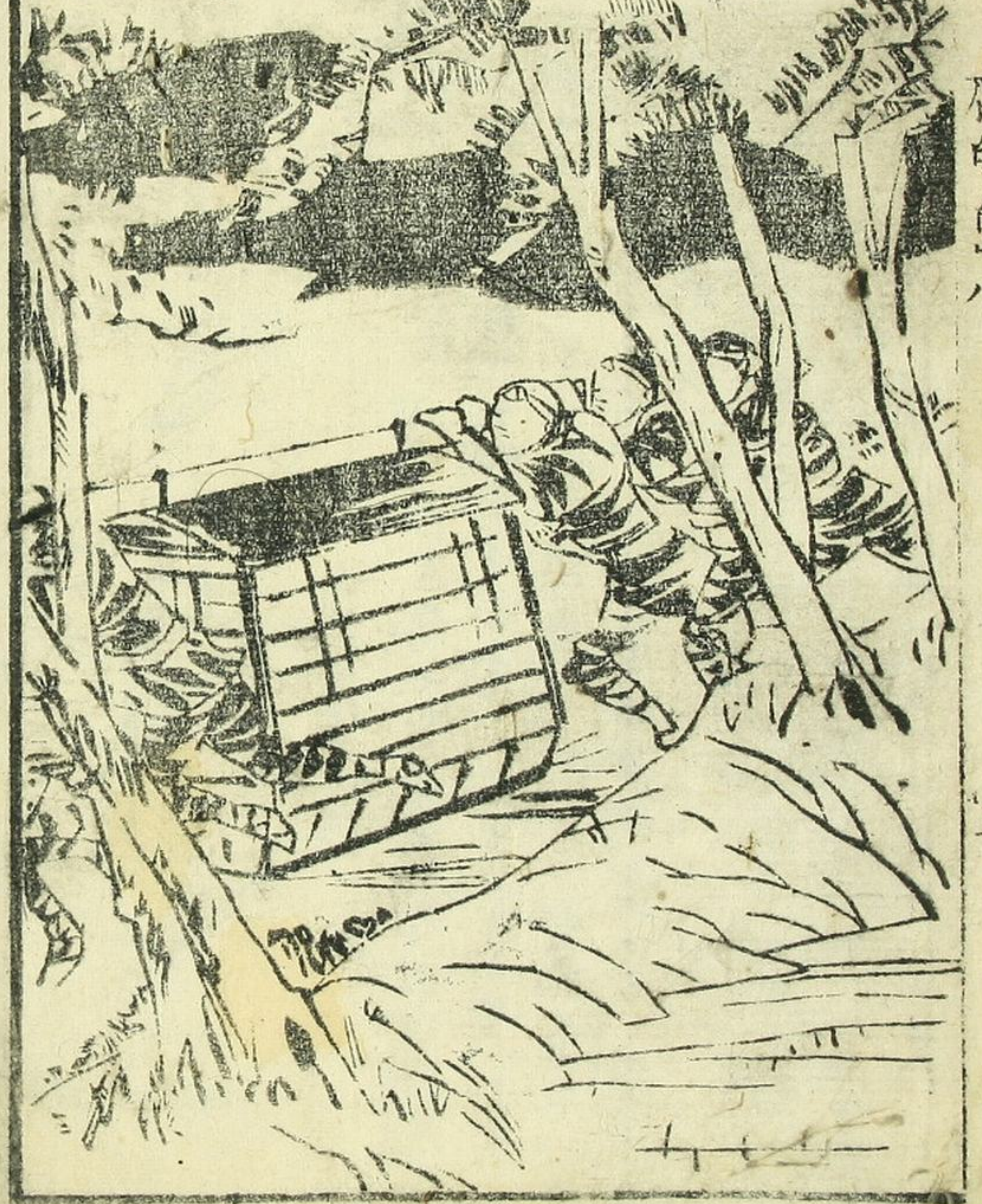


単地
 あり
 かじま
 往復
 ありて
 ありて
 人気を
 ひた
 たる
 よき
 あり
 四郎と
 八の
 四郎



早駕籠
 こを偽
 報を
 連を

乃ハ
 本
 の城
 あり
 のと
 あり
 さう
 の偽
 あり
 日三度
 桂四郎
 との



八の

四右衛門と号すその
先祖ハ島津家十代より

桂四郎

の月野と
云へる所を領し島
津の姓と名の



後
その領地月野と
つるを以て桂と
改めらるるこの四郎は旧
藩を三家と称せり島津
下總の三男なり桂家の養子とありて

偽縣令
鹿兒島
金穀
と募

宮崎縣の長官となりたるを以り然其人望あり
既ハ大山が鹿兒島縣令に任ぜり前小桂と

縣令にふるさとの議ありし七族は不同意を
拒みたりと加さ人物あれば何の患慮り

あく西々ふるさ肥後よりあり別府ホカ

募り兵散り敗走はるる

桂のまごころ鹿兒島より

その牙偽て縣令と潜号し
恣まに金穀と加す終り
猶諸人より迫り三千人の新兵
と脅從てあつて肥後へ

出張せしとそ



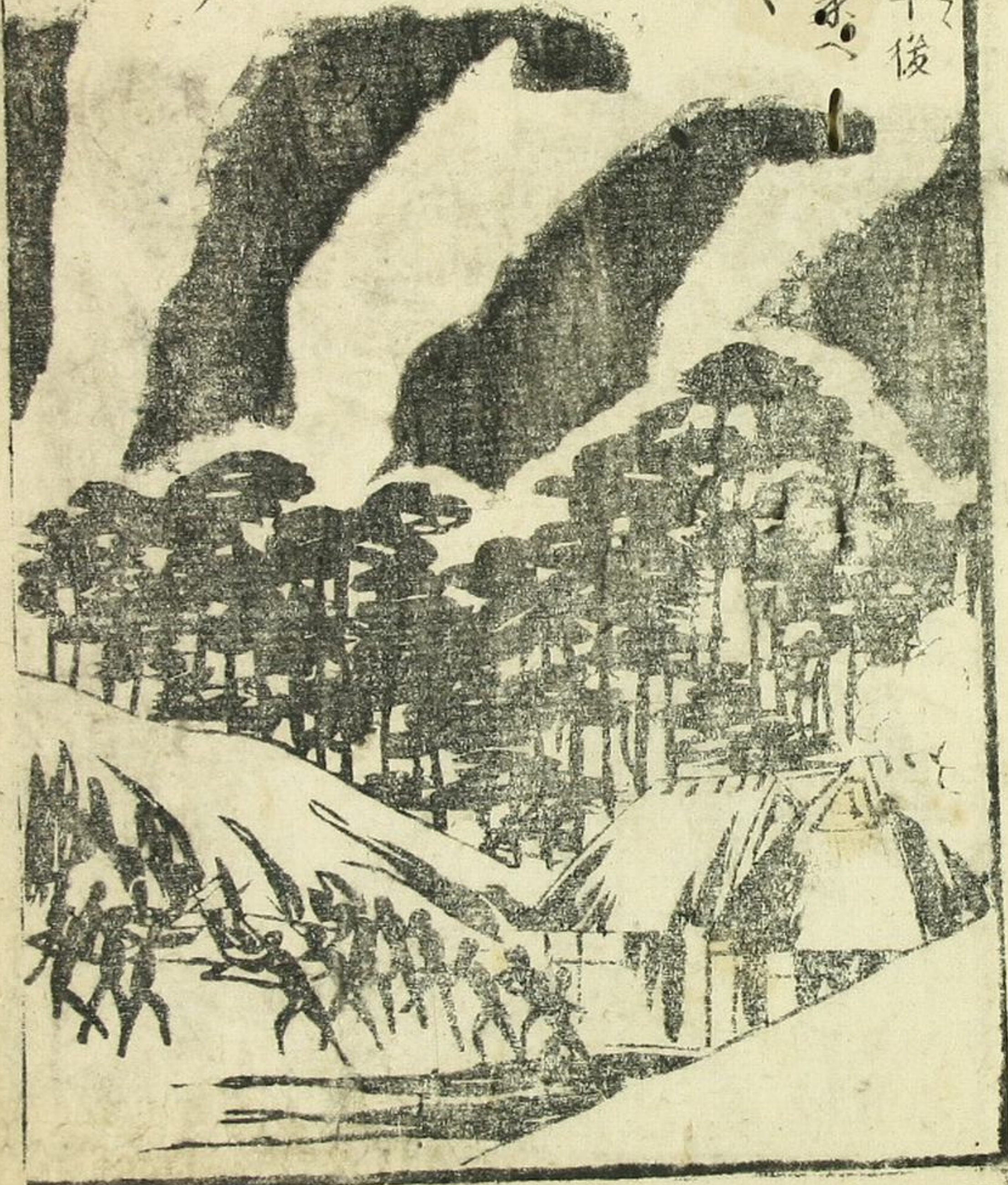
熊本城を圍ん
 たる賊兵の
 大津木山
 御舟へ退き
 竹の家より
 屯集するは
 毎侯隊より
 ついでに
 谷少将令を
 下し城兵の
 心をあつて
 攻撃をさんど
 用意をそとの

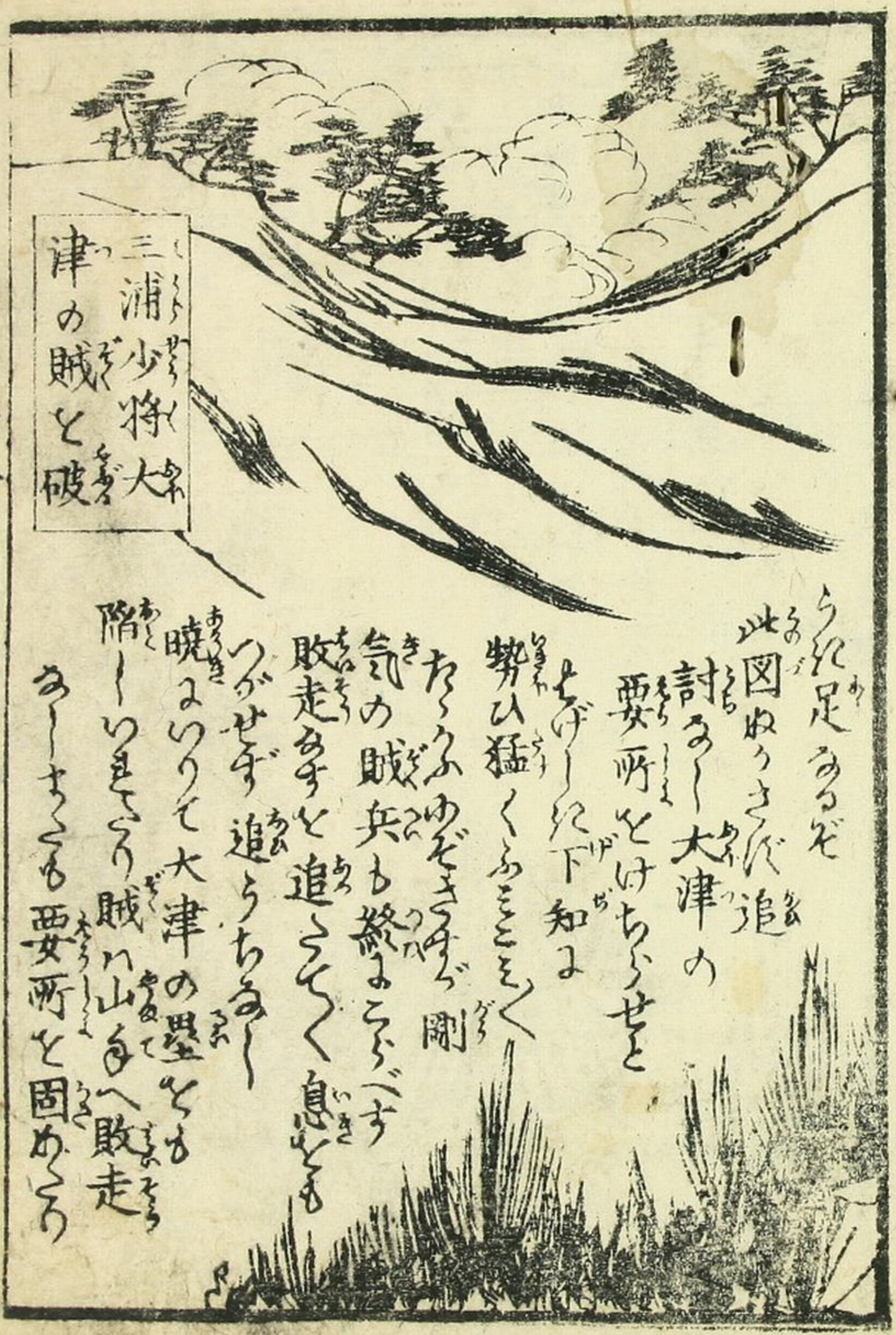


砲撃を
 めぞ暴徒
 ハ狼狽
 敗走は
 山の
 引上
 たり

竹の家
 の賊兵
 敗走を

四月廿日午後
 三時竹の家へ
 戦い救刺
 賊兵の
 防ぎ終ふ
 夜あり
 官軍の
 岳に昇り
 右側と





三浦少将大津の賊と破

原見島

うれ足あるぞ
 此図ぬうさへ追討する大津の要所をけあらせと
 勢ひ猛くふさぎと剛
 たつふゆをきまが剛
 気の賊兵も終よらへす
 敗走多すと追々てく息も
 つかせず追らちま
 暁のついで大津の壘を
 陥しついで賊の山へ敗走
 ありさるる要所を固めり



原見島

同廿一日の夜大津の賊三浦少将のふへ
 お来り不意の砲發あり官軍
 大小砲とまひり發し
 抜刀隊ハ刀とらちあり
 追つ追つとら突戦あり
 の年ご勝負もつらさ
 三浦少将鞍を立上り
 賊はとてお



原日記



飯田山とて
砥川と占め
木山の背後
とせめらち
○同廿二日
黒田陸

入るあり
ささげも
西々隆盛
ハ熊本城へ
加々々
且又
腹脊
の官
追々進
きるゆを



二十五小
隊を固く
まわつてあり
たりしが終よ
差をも
退ききたり
まより正午十二時
ごろより山田川路の
両もとあり

官軍
木山を襲
征討参
謀を免せ
長崎
廿五日に女海丸へ
り組を神戸へ



築き兵とらり
 その方日向國
 高千穂小本營をかまへ
 諸隊長とありめ日夜小
 軍議とらしつ官軍と

淵辺群平

村田新八

御舟
 大津木山の
 要路へ胸壁と
 つぎ各所へ令をつて
 山の方へ退ぞ

西郷隆盛



西郷隆盛

西郷隆盛



一 号 一 号 明治十年 三月廿二日 御届 價三匁五厘
 二 号 四 号 日 四月四日 御届
 三 号 五 号 日 四月廿七日 御届
 四 号 六 号 日 五月廿八日 御届
 五 号 七 号 日 六月三十日 御届
 六 号 八 号 日
 七 号 九 号 日
 八 号 十 号 日
 九 号 十一号 日
 十 号 十二号 日

一 号 七 号

編輯者 東京第五區千石小區島田一善也
 出版人 大西庄之助

010190510471

